

水野彌一氏によるフラッグフットボール教室（平成25年6月22日）



平成25年6月22日（土）、関西学生アメリカンフットボール連盟「京都プロジェクト」との共催事業として、宝が池公園球技場において、水野彌一氏によるフラッグフットボール教室を開催しました。

参加した小学1年生から6年生までの約20名の子どもたちは、4チームに分かれて京都プロジェクトの大学生達と一緒にしっぽ取りやキャッチボールで元気に体を動かし、新しく張り替えられた人工芝の感触にも大喜びでした。ブロッキングやディフェンスの動きを練習した後は、いよいよ試合形式のミニゲームです。

「ハドル！」の掛け声とともに、子どもたちが一斉に集合し、オフェンス（攻撃）の前にフラッグフットボールの特徴である作戦を話し合います。そして作戦が決まるとすぐに実践。相手をかかわしたつもりでもあっさりフラッグを取られて、くやしい表情で肩を落とすこともあります。作戦どおりチーム5人の動きが決まり、見事タッチダウンできた時には、子どもたちだけでなく、周囲のスタッフからも拍手や喝采が沸き起こり、成功の喜びを皆で分かち合う一体感に包まれました。

水野氏は、「プランを立てること。そしてそれを実行すること。この2つが大事。この2つをしっかりとできるようになればスポーツだけでなく、これからのどんな場面でも必ず役に立つ。」と熱心に話され、子どもたちも真剣な表情でじっと聞き入っていました。

終了後、参加した子どもたちは「作戦がうまくいった時はうれしい！」「おもしろかった！次もまた参加したい！」と話していました。

※ 京都プロジェクトとは、関西学生アメリカンフットボール連盟に所属する京都を中心とする15の大学により、アメリカンフットボールの普及を目的として2009年に発足した学生団体。京都を拠点として、試合会場などでの模擬店の出店、京都学生祭典への参加、フラッグフットボール支援等を行っている。